

特集「改訂学習指導要領に基づく中学校の授業実践」の原稿募集について

2021年4月より、中学校では、改訂された学習指導要領が全面実施となり、新しい教科書を使用した授業が始まります。そこでは、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を図ることが重視されています。また、その実現を支援するための、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づく学習評価も始まります。

そこで、本誌では、改訂学習指導要領に基づく中学校の授業実践をテーマとする特集を組むことにいたしました。授業における数学的な見方・考え方の働かせ方や生かし方、そのための手立て、数学的活動や「算数・数学の問題発見・解決の過程」を重視した学習指導、統合的・発展的に考察しようとする態度や問題解決の過程や結果を振り返って評価・改善しようとする態度の育成と評価など、改訂学習指導要領で変更されたり、一層重視されたりしたことをテーマに、開発・設計した授業の実践の成果や授業における生徒の様相の分析等を実践研究論文としてまとめ、ご投稿ください。論文の長さは「実践研究」と同様に、「8頁以内(学習指導案2頁を付し、それを用いて論文を構成する場合は10頁以内)」とします。

第1回の〆切を本年8月末日とします。標題の先頭に「特集」と付記し、学会の投稿システムよりご投稿ください。みなさまの投稿をお待ちしております。

数学教育編集部一同